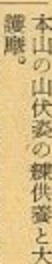


千二百年祭をめぐる諸行事



奉納。

十四日 淨土宗知恩院一山の説経、裏千家家元の献茶、関西交響楽団の管絃奏護摩。

本山の山伏姿の練供養と大

繪巻物を次ぎ次ぎに展開し、南都の諸大寺もこの記念法要を慶讃するため秘佛を公開し、奈良国立博物館では十五日より二十八日迄天平

平の盛時にわきかえり市民は極楽浄土の出現と互ひに喜びあい意義ある記念行事の幕は閉ぢられました。

十一月十七日	十一月廿一日	十一月十四日
鼓阪出羽	佐保出羽	三條会
		検査場
		検査月日

所	所	所	所
鼓吹出張所管内	佐保出張所管内	大宮出張所管内	検査医域

一、堤防駐畔は一十二月の乾燥期に焼き拂い雑草中に潜伏しておる蠅虫並にその以外の諸害虫の殺滅

種に注意すること
一、鳥類（雀、むくどり）
の保護に努め之が捕獲を
つゝしむこと（農務課）

るので恐水病と云われます。その後甚だしく苦悶し悲惨な状態のうち癲痺期に入り四―五日で死亡する事が多いようですから充分御注意下さい。

要華嚴宗派の華嚴経講説、
天平雅児を交え練供養。
十六日 四天王寺派によ
る法要、金春能奉納、百
練供養。
十七日 南都諸大寺によ
る法要、秋田亮氏の新作
舞踊「虚空」を奉納。
十八日 長谷川一夫の日
本舞踊「鳥の子」を奉納
十九日 東大寺一山によ
る万國英靈追悼法要。

市衛生課では十一月十五日から三十日迄の間「ねずみ」
ととり用として毒だんこを
約十個程度各家庭へお届け
致しておりますから、左記
の注意を讀んで「ねずみ」
とりに協力して下さい。な
お捕えられたねずみは市衛
生課亦は各支所出張所で一
四十圓で買い上げる事にな
っておりますからお届け下
さい。

「ねずみ」買います
二、ねずみは夜間食物をたべに来るから毒だんごは夕方配置すること。
三、人や家畜が誤つてたべると中毒を起しますから取扱に注意すること。
四、毒だんご配置中は各家庭で責任者を定め毎日点検し最終日に残つたものは土中に埋めるが便所へ

十一月十八日	飛鳥出題
十一月十九日	井上町天理
十一月二十日	津井出題

◎検査時間は午前九時より

本年稲作における二化螟虫の発生状況

二化螟虫の発生状況

対

所	飛鳥出張所管内
教会	洛美出張所管内
所	棒井出張所管内

り午後三時まで

異状發生

策は今から

刈取ること。

狂犬病は大のはか人、牛馬、猫、鶏等にも発生しますが主として犬の咬傷によつて伝染し一旦発病すれば必ず死亡するものです。

狂犬病とは

狂犬病の病菌は細菌より小さい濾過性毒です。一度これに侵されれば人や犬は勿論その他凡ゆる温血動物は

一〇〇%（みんな）苦悶して死んでしまいます。即ち近代医学では全く治療法がないと云ふ恐ろしい病毒で、大の咬傷口から侵入し一旦発病した犬は二〇日乃至四〇日間の潜伏期間の後次第に危険状態に入り狂暴性を帯びて来て大であらうと人であらうと体に触れるもの何でも咬みつき唾液の中

この形をいひ狂犬を予防するには

- 一、犬の予防注射を勵行すること（年二回）
- 一、野犬を撲滅すること
- 一、飼犬は放飼にしないこと
- 一、犬をむやみに縣外へ移動させないこと

飼犬は必ず登録して年二回予防注射を受けさせよう

この開十二日、十九日の大決要の日は特に天平の古業が奉納されました。幸にも八日間亘る記念行事も天候に恵まれ、全国からの参拝者で古都奈良は埋まるといふ盛況振りでありました。奈良市民もこの記念法要を慶讃する意味で大佛開眼慶讃会をつくり各戸に「祝大佛開眼」の提灯を掲げ、商店街は秋の売出を大々的に行つて奉讃の意を表わしました。又近鉄

一、毒だんごは数個宛一か
ために無難作に紙に包ん
で自然らしく見せ、ねず

記

体温計

十四日から

来る十一月十四日より廿一
日迄奈良市では体温計検査
を実施することになりました
た、この検査は体温計の定
期検査であり体温計を業務

毒だんごの外、捕鼠籠、バチンコ等を使つて一匹でも多くクねずみをとりつて下さい。

一、本年の稻刈取に際しては刈株に残る幼虫を少なくするため出来るだけ低く

一、被害の激しい稻葉は刈取調製後燃料として速かに焼却し、葉の中に棲息する幼虫の殺滅を図ること

一、本年の稻葉は速成堆肥とし、再度切り返しを行い、完熟腐敗させて生葉の儘、施用しないこと

一、堆積糞は明春四月までに屋内に取り入れ密閉して蛾の散逸を防ぐこと

一、五月以降に残す積糞は蛹化期(三—四月)に改良積糞法に積換えるか又は



〔宮城は奈良公園の〕

秋景色

大には常に登録鑑札と注射
烙印をつけて置かないと野
犬として捕獲されます。
登録料金 三〇〇円
注射料金一回一七〇円

編輯だより

「市民だより」が発行される
様になつてからも二年と
七ヶ月になる、その間発行
の滞りなく、可なり

東大寺は聖武天皇が佛教の力によつて立派な統一された日本を築き上げようとした

史蹟巡り

「東大寺」

ごとく焼きつくされてしまいました。大佛様の首もこの時落ちてしまいました。しかしその後平家が滅び、源氏が勢を得るにつれ源頼朝は東大寺の再建に力をいだし、当時の高僧俊乗房重光が宋の文化を移入してここに昔のような立派な東大寺を再建いたしました。現在残っている南大門はその

は又、又、永祿十年（西紀一五六七）再び兵火にかかりました。

多門山（今の若草中学校のたつてゐる山）に多門城を築いた松永彈正久秀と三好氏の争いから再び焼け失せました。幸に南大門が残りです。豊臣秀吉もこの大佛様を修理するために民間のもつてゐる刀を集め

創建された当時の大きさの金堂を再建することは出来ませんでした。現在の大師殿はこの頃の建物で、その面積は創めて建てられた時の三分ノ二にちめられたっていますが、それでも今尚世界一の木造建造物として国宝に指定されています。

づかされます。

堂内にはいと、五丈三尺五寸の大佛様かどつかと坐しておられます。本名は毘盧舍那佛と申し、三千世界を普く照らすという佛様です。聖武天皇は各国に国分寺を建て、丈六の釈迦如来を安置して全国の人々の苦しみを救われしめ、更にその国分寺の總本山として二

ていたのであります。天平十三年にお出しになった詔の中に

「頃者年歳豊かならず疫癘頻りに至り懶惰交集（いんりょうあつじふ）唯勞して己を罪す」と申されていることでよくおわかりでしょう。こうしたこの国民の苦しみを救う

昭和二十五年度は八六七頭
昭和三十六年度は一一一頭
犬にかまれたら

き、世の中も随分変わってきた様であるが、あと一ヶ月あまりで三度目の正月を迎える事になるわけである。然し、この三年間に「市民だより」のために使途された金額は相当多額なものになるであろう事が想像される。

市民に送付される。「市民だより」はたつた一枚であるが市民全体のために

勢を機動員してつくられたもので、境内は八丁四面に及び、南大門をはいると左右に三十二丈という雄大な七重の塔がたち、その前方には中門を通して金堂、講堂、三面僧坊、食堂、大湯屋等と堂々たる建物がたちならんでいましたが、治承四年（西紀一一八〇）平重衡の兵火にかかつてこと

時の建物が雄大で大膽的な気分が満ち満ちたその中に当時の最も優れた彫刻家といわれている運慶、快慶によつて作られた仁王様が立っています。その前方にある石獅子は中国から持つて来た石材に、宋の工人が刻んだものです。異国のな気分があらわれています。

こうして我々の先祖の手によつて再建された東大寺

また建は仲々出来ません。その後建は仲々出来ません。百四十の間鎌倉の大佛様と同様、露坐(雨ざらし)の大佛様でありました。徳川の世となり天下太平の世とはなりましたが、仲々再建は出来ませんでした。五代將軍綱吉の頃、傑僧公慶上人が出て、之が再建に乗り出しましたが、仲々資金も思うように集まらずに

天平時代の様式とそなえており、これに使われている木材で、現在奈良市に建っている家がたつといわれますが全く想像の出来ない程です。現在東京その他に堂々と建てられているビルディングもこの大佛殿に比べると問題にならないといわれていますが、うそのような本当の話で、大佛殿に近づくとつれてなるほどとうな

の東大寺をお建てになり極
楽淨土をこの世につくり上
げようとして、この大佛様
をつくられ、日夜國家の安
泰と發展をお祈りになった
のであります。当時我が國
は咲く花の匂うが如く榮え
ていたと申しますが、すみ
で幸であつたのではあり
ません。惡病が流行したり
大地震があつたり飢饉があ
つたりして國民は相當困つ

東大寺であるのであります。大佛様は大きなと感心する前にこの東大寺を創立された聖武天皇の御心中や、この大事業をおたすけした吾々先祖の苦しみと努力を充分心して、心から拜み度いと思ひます。

次は正倉院に御案内致します。

ら速やかに医師の診断を受けると共にすぐに市役所又は保健所へ届け出て下さい。そして咬傷口は他の外傷と同じように充分な治療を受けないと狂犬病でなくとも破傷風、たん毒等々で命を失うこともあります。出来得れば、その犬を連れて行つて獣医師の検診を受けることが一番よい方法です。人がもし犬に咬ま

くる市役所では貴重な歳出である、そのため「市民だより」は、たえず市民の輿論と併行して編輯されることになるが、市民から贈かれた声は「わかりやすく書いてほしい」と言うことでした。係ではこの輿論を尊重しながら、今後も編輯を続けてゆきたいと考えているので卒直な意見をお聞かせ下さい。